

アクリル系 エマルジョン塗料

WALLTEX

high-rich

ウォルテックス ハイリッチ

塗膜性能に優れ、
建築物の美しさを際立たせる
ハイクオリティ塗料

T TOHPE CORPORATION



WALLTEX

high-rich

ウォルテックス ハイリッチ

国土交通大臣認定

認定番号	区分
NM-8585	不燃材料
QM-9816	準不燃材料
RM-9364	難燃材料

塗料塗装
 (社)日本塗料工業会
 株式会社トウベ



ホルムアルデヒド放散等級分記号
 JIS K 5663

仕上がりの美しさと経済性で差をつける、ウォルテックスハイリッチ

ウォルテックスハイリッチは建物の内外部用アクリル樹脂艶消エマルジョン塗料です。
 強靭な塗膜で、壁体を保護します。

FEATURES ■ 特長 ■

- きめの細かな優雅な仕上げができます。
- のび・とまりが良くて経済的です。
- 耐水性・耐アルカリ性が優れています。
- タッチアップ性が優れています。

ウォルテックス ハイリッチ

ローラー塗装でこれまでのエマルジョン塗料にない平滑でスムーズな仕上がりが得られます。
 底づやのない落ちついた仕上がりです。
 補修ムラ、下地の吸い込みによるムラが目立ちません。

LEAGUE TABLE ■ 試験成績表 ■

試験項目	試験結果 ウォルテックス ハイリッチ	規格 (JIS K 5663 1種)
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性 (-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間 (h) 標準状態	1	2時間以内
	5℃	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率 (白及び淡彩)	98	93以上
耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	1種 48時間浸したとき異常がないものとする
耐洗浄性	合格	1種 500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
屋外暴露耐候性	合格	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

WALLTEX

壁用シーラー



ホルムアルデヒド放散等級分類記号

JIS K 5663

WALL SEALER 壁用シーラー

商品名	特長	色相	容量	希釈剤	希釈率 (%)	塗分量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間以上)
パーメイトシーラーII透明	特殊アクリル樹脂系エマルジョンを用いた水系シーラー。付着性に優れる。 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	透明	15kg	上水	0~10	0.10~0.12	2
パーメイトシーラーII白	透明と同系で白色に着色。 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	白	15kg	上水	0~10	0.10~0.12	2
トアシミ止め	やに・シミ止め用水性シーラー。 頑固なシミを良く抑えます。 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	白	15kg	上水	無希釈	0.12~0.16	3
トアVフリーシーラー	超低 VOC 自己架橋型エマルジョンシーラー JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	白・透明	15kg	上水	0~10	0.10~0.13	2

EXAMPLE 標準塗装仕様例

①新しく塗装する場合

被塗面	工程	作業	塗装間隔 (時間以上)
(A) プラスター、石綿、ボード板等	素地調整	●ごみ・汚れを除去してください。●割れ目やくぼみはエマルジョンパテで処理してください。	
	下塗	パーメイトシーラーII 透明または白 1回塗装	2
	上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3
(B) モルタル、コンクリート等	素地調整	●ごみ・汚れを除去してください。●割れ目やくぼみはエマルジョンパテで処理してください。	
	下塗	パーメイトシーラーII 1回塗装	2
	上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3
(C) 珪酸カルシウム板等	素地調整①	●ごみ・汚れを除去してください。	
	下塗	トア AS シーラー-水性#100 1回塗装	2以上
	素地調整②	●割れ目やくぼみはエマルジョンパテで処理ください。	
上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3	
(D) 木材	素地調整	●ペーパーをかけて平滑にし、良く清掃してください。 ●節部や「やに」のある部分にはラックニスを1回塗る ●止め釘などの金属部にはトアセイ 21 プライマーを塗ってさび止めをしてください。	
	下塗	吸い込みのひどい場合、パーメイトシーラーII 1回塗装 (下地の条件によって省略できます)	2
	上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3

②旧塗膜がある場合

被塗面	工程	作業	塗装間隔 (時間以上)
エマルジョン塗料が塗ってあるもの	素地調整	●ごみ・汚れを除去してください。 ●旧塗膜が一部剥離しているような場合には、ケレン用具で十分に浮き膜を除去してください。 ●強くこすっても落ちないほど、よくくっついている場合には下塗りをして試験してください。	
	下塗 水系	パーメイトシーラーII 1回塗装 (下地の条件によって省略できます)	2
	上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3
油性塗料又は、合成樹脂塗料が塗ってあるもの	素地調整	●ごみ・汚れを除去してください。 ●旧塗膜が一部剥離しているような場合には、ケレン用具で十分に浮き膜を除去してください。 ●強くこすっても落ちないほど、よくくっついている場合には下塗りをして試験してください。	
	下塗 水系	パーメイトシーラーII 1回塗装 (下地の条件によって省略できます)	2
	上塗	ウォルテックスハイリッチ 2回塗装	3

■ 準備

1. まず壁のごみ・ほこりを清掃します。被塗面の汚れ（油類・タール・すすなど）は石ケン水又は、ペイントシンナーなどで洗います。すすは得に入念に取り除いてください。
2. 壁の割れ目やくぼみは、あらかじめ樹脂モルタル・プラスター・セメントフィラー又は、エマルジョンパテなどを用いて補修してください。
3. 木材に塗る場合、節部や「やに」のある部分にはラックニス を 1～2 回塗ってください。
4. 鉄板や止め釘などの金属類には、あらかじめさび止め塗料（トアスイセイ 21 プライマー）を塗ってください。
5. 水溶性シミや、やにが著しい壁には、「トアシミ止め」を塗ってください。
6. 古い塗膜はできるだけ除去し、塗面がわれたりチョーキングしたり浮いたりしている場合は、入念に古い膜を取り除いてください。

■ 塗装

1. ウォルテックスは、はけ塗り・ローラー塗りいずれにも適します。吸い込みがひどい場合や、著しく粗い面にははけ塗りする際には、水で薄める（塗料の 5%～15%）と塗りやすくなります。
2. 使用前に良く攪拌し塗料を均一にしてください。
3. 通常、2 回塗りで仕上げます。
4. 乾燥した塗膜の色は若干濃くなりますので、色合せでの色の比較は乾燥した塗膜どうしで行ってください。

■ 塗装後

1. 使用后、はけや容器、器具は乾かないうちに水が石ケン水で洗ってください。一旦乾いてしまうと溶剤でも落ちにくくなります。
2. スプレー器具は使用后一旦水で洗い、さらにアルコール又は、ラッカーシンナーで洗って完全に水分その他を除き、「さび」ないように特にご注意ください。
3. 残った塗料は密閉して保存してください。

■ ご注意

1. 新設コンクリート・モルタル素地・プラスター面は施工後 3 週間乾燥させ、pH10 以下で塗装してください。
2. 塗膜がよく乾かないうちに降雨や結露又は、水がかかったしないように、塗装時の天候などのご注意ください。
3. 温度が高い場合や低温で風のない時には、更に長時間乾燥させてから重ね塗りしてください。
4. 極寒時の塗装はさけ、気温 5℃以上で使用してください。
5. 塗料は凍結すると変質する恐れがありますので、寒礼時の塗装ならびに塗料の保管について十分ご注意ください。

■ 塗布量と乾燥

1. 通常 1 回塗りで

	ウォルテックスハイリッチ
粗面又は、吸い込みの多い場合	0.14～0.17 kg / m ²
平坦で吸い込みの少ない場合	0.13～0.15 kg / m ²

2. 指触乾燥は 15～30 分、塗り重ねには 3 時間以上置いてください。

■ 安全衛生面での注意事項

塗料・材料に関する安全・衛生面での注意事項は塗料・材料の SDS に記載しておりますので、ご確認の上ご使用ください。

取り扱い上の注意事項、その他につきましては安全データシート（SDS）をご参照ください。

本社	電話	FAX
592-8331 大阪府堺市西区築港新町一丁目5番地11	(072)243-6452	(072)243-6407
東京支店 110-0015 東京都台東区東上野六丁目16番10号 (KBUビル)	(03)3847-6441	(03)3847-6445
北海道営業所 061-1111 北海道北広島市北の里27番16号	(011)372-4511	(011)372-4429
仙台営業所 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目1番23号 仙台Kビル7階	(022)355-7076	(022)355-7079
北関東営業所 306-0213 茨城県古河市北利根8番5号 (茨城工場内)	(0280)92-5951	(0280)92-0492
東京営業所 110-0015 東京都台東区東上野六丁目16番10号 (KBUビル)	(03)3847-6420	(03)3847-6475
	(03)3847-6502	(03)3847-6467
北陸営業所 933-0251 富山県射水市有磯二丁目3番2	(0766)86-3581	(0766)86-3513
静岡営業所 422-8067 静岡県駿河区南町6番1号 (南町第1ビル)	(054)285-4351	(054)285-3875
名古屋営業所 460-0003 名古屋市中区錦一丁目18番24号 (HF 伏見ビル7階)	(052)232-8230	(052)232-8232
大阪営業所 592-8331 堺市西区築港新町一丁目5番地11	(072)243-6421	(072)243-6425
	(072)243-6431	(072)243-6428
中国営業所 713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252番地39	(086)526-1708	(086)526-1728
九州営業所 811-0117 福岡県糟屋郡新宮町大字上府字松尾1504番地の1	(092)962-1521	(092)962-4131
研究所	三	重
	茨	城

■ トウペ製造株式会社

電話	FAX
三重事業所 519-1402 三重県伊賀市柘植町2700	(0595)45-4131 (0595)45-2081
茨城事業所 306-0213 茨城県古河市北利根8番5号	(0280)92-1571 (0280)92-1133
倉敷事業所 713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252番地39	(086)525-1821 (086)525-1239
九州事業所 811-0117 福岡県糟屋郡新宮町大字上府字北尾1561番地の16	(050)3000-8084 (092)962-1627

■ 取扱店

●このカタログの内容について詳しくお知りになりたい方は、お近くのトウペ取扱店におたずねになるか、当社にお問い合わせください。
●仕様その他は改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。